



AICHI Film Commission Newsletter

愛知県フィルムコミッション協議会だより

2015.12.3
Vol. 6

博物館明治村（犬山市）で撮影された
映画「母と暮せば」（出演・吉永小百合、二宮和也）
が公開されます。是非、映画館でご覧ください！

12月12日（土）
より全国公開！



「母さんはあきらめが悪いから、なかなか出てこれなかったんだよ」。
1948年8月9日、長崎。助産婦をして暮らす伸子（吉永小百合）の前に、3年前に原爆で亡くしたはずの息子・浩二（二宮和也）がひょっこり現れる。伸子は呆然とした。その日浩二の墓の前で「あの子は一瞬の間に消えてしまったの。もうあきらめるわ」と言ったばかりだったのだ。
「あなたは元気なの？」そう



伸子が尋ねると、浩二は腹を抱えて笑い出した。「僕はもう死んでるんだよ。元気なわけないだろう」。その日から、浩二は時々伸子の前に現れるようになった。二人は、楽しかった思い出話から他愛もないことまでたくさんのお話をしますが、一番の関心は、医学生だった浩二の恋人・町子（黒木華）のことだった。結婚の約束をしていた浩二を突然失ってしまい、心の行き場もないまま、この3年ずっと伸子を気にかけてくれる優しい娘だった。
「浩二、もし町子に好きな人が現れたら、あの子のことを諦めるしかないのよ。だって、あなたはもうこの世の人じゃないのだから。あの子の幸せも考えなきゃね」。伸子の言葉に、浩二は口を尖らせる。「町子には僕しかいないんだ」わかっているけれど、受け入れることができない浩二。伸子はそんな息子が愛おしかった。ふたりで過ごす時間は特別なものだった。奇妙だったけれど、楽しかった。その幸せは永遠に続くようにみえた――。

出演：吉永小百合 二宮和也 黒木華 浅野忠信 加藤健一 広岡由里子 本田望結
小林稔侍 辻萬長 橋爪功
監督：山田洋次



hahatokuraseba.jp



明治村「第四高等学校物理化学教室」で撮影されました！

©2015「母と暮せば」製作委員会



「母と暮せば」は
犬山ロケサービスチーム支援作品です。

次回発行は12月中旬予定！
お楽しみに！

明治の息吹漂う明治村では、
これまでも映画やドラマなど数々の
撮影が行なわれてきました。
「母と暮せば」は、今年の5月上旬の暑
い日に撮影が行われました。
公開が楽しみです！

犬山市の公式キャラクター
わん丸君



ロケ地となった「博物館 明治村」へは、
名鉄「犬山駅」東出口から
バスで乗換約20分です！！！！



愛知県
フィルムコミッション協議会

<http://www.aichi-film.jp>

